

たします。

議案第11号について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。

予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○**渋谷佐輔議長** 起立全員であります。

よって、議案第11号は、予算特別委員長報告のとおり決定いたしました。

委員会付託の省略について

○**渋谷佐輔議長** お諮りいたします。これから上程いたします議案は、委員会付託を省略し、全員でご審議願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

日程第28 議案第38号 長井小学校第一校舎耐震改修等（建築）工事請負契約の締結について

日程第29 議案第39号 平成29年度長井市一般会計補正予算第1号

○**渋谷佐輔議長** それでは、日程第28、議案第38号 長井小学校第一校舎耐震改修等（建築）工事請負契約の締結について及び日程第29、議案第39号 平成29年度長井市一般会計補正予算第1号の2件を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○**内谷重治市長** 議案第38号 長井小学校第一校舎耐震改修等（建築）工事請負契約の締結についてご説明申し上げます。

本案は、去る3月23日に執行いたしました入札の結果に基づき、契約金額4億9,572万円をもって、那須建設株式会社、代表取締役社長、那須 正と工事請負契約を締結するため、長井市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定によりご提案申し上げるものでございます。

続きまして、議案第39号 平成29年度長井市一般会計補正予算第1号についてご説明申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、予算の総額に2,003万2,000円を追加し、予算の総額を、歳入歳出それぞれ137億4,503万2,000円とするものでございます。

このたびの補正は、歳出において、国語力増進事業1,528万7,000円、食育関連事業474万5,000円を追加し、歳入において、地域の教育資源を活用した教育格差解消プラン委託金1,528万7,000円、前年度繰越金474万5,000円を追加するものでございます。

以上、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○**渋谷佐輔議長** 提案者の説明が終わりました。

これから、順次、質疑、討論、採決を行います。

まず、日程第28、議案第38号 長井小学校第一校舎耐震改修等（建築）工事請負契約の締結についての1件について質疑を行います。

ご質疑ございませんか。

12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 市長に伺います。工期が3日後から始まるわけですね、改修工事。それで、施政方針には、カフェやギャラリー、小・中学生のキャリア教育の場、子供の遊び場、

観光客向け体験プログラム等の実施拠点として云々とあるんですが、まだ今決まってませんよね、具体的には。

それで、いつ具体的にこういった活用のしっかりした方針というのは決まりますか。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答え申し上げます。

このたびの耐震の建設工事につきましては、いわゆる使途によらずに全体の免震工事を行うものでございます。なおかつ、この工事自体は2年間に及びます。したがって、今回、国の補正で認めていただきました地方創生の拠点整備交付金、このたびの1年目の工事に充てるという工事の契約でございます。次年度もう一度、2年間の継続の工事でございますので、したがって、それまでに決めると、29年度、30年度までに決めるっていう考え方でございまして、内容につきまして、もちろん、これからも市民の皆様、いろんな団体、企業からご意見をいただき、議会の皆様と審議した上で、その使途、そして今度それに当たる事業者を決めまして、そして、その事業に基づいて校舎内を各自改装する。ですから、実際2年間の猶予があるわけですね。

今回は、あくまでも免震工事の請負契約でございますので、2年間かけて、これから内容については決定したいと、そのように考えております。

12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** いろいろ私も提言してまいりたいと思います。

そこで、建設参事に伺いますけども、1年9カ月というか、長い工期ですね。それで、大型の公共事業なわけですが、公共事業の常として、5月、6月、7月、8月あたりに余り仕事なくて、冬場、11月ぐらいから年度末で押してきて、やはり業者の方が非常に忙しくて、日の長いときに仕事なくて、日が短くなって寒

くなってくるパターンなんですよね、これまで。そうすると、今、人手不足、あといろんな下請企業とかが入るわけですから、なるべく工事スケジュールを平準化、平たんというんですか、年度末に押さないような配慮が必要と思うんですが、いかがでしょうか。

○**渋谷佐輔議長** 青木邦博建設参事。

○**青木邦博建設参事** お答えいたします。

公共事業の発注につきましては、4月、5月、6月の工事の閑散期、なるべく早期発注するように、国土交通省なり、指導いただいております。年間を通しての工事の平準化というのは指導されているところでございます。

ですので、今回、経済対策の繰り越し事業につきましても、3月に発注して、4月、5月、6月については工事に入れるような体制を長井市としてはとっておるところでございます。

○**12番 五十嵐智洋議員** よろしくお願ひします。

○**渋谷佐輔議長** よろしいですか。

ほかにございませんか。

5番、平 進介議員。

○**5番 平 進介議員** 今回、議案としては、建築工事なわけですが、建設課長にお聞きをお願いします。

資料として、電気工事と機械整備の工事の結果が出ております。今回、条件つき一般競争入札で……。

(「教育委員会」の声あり)

○**5番 平 進介議員** ああ、教育委員会か。

(「公共施設整備課」の声あり)

○**5番 平 進介議員** 公共施設整備か。課長に、じゃ。済みません。

条件つき一般競争入札でされたというふうに思うんですが、この3つの工事の予定価格、税込みの予定価格と、それから落札率、そして入札された業者名についてお聞きをいたします。

○**渋谷佐輔議長** 桐生芳弘公共施設整備課長。

○桐生芳弘公共施設整備課長 お答えいたします。

このたびの入札につきましては、3月7日に公告を行いまして、3月の23日に入札を行ったものでございます。このたびは、条件つき一般入札ということで、予定価格を公表させていただいておりますが、建築工事につきましては、消費税抜きの、公告の場合、消費税抜きでやっておりますので、その金額としては4億6,260万円で、消費税を含めると4億9,960万8,000円。落札金額につきましては4億5,900万円、消費税を含めると4億9,572万円となります。落札率につきましては99.2%でございます。

入札の参加者でございますが、参加希望を提出したのは6者でございますが、入札に参加したのは2者でございます。

落札いたしました那須建設さんと大泉建設株式会社、2者でございます。

続きまして、電気設備工事でございますが、予定価格、消費税抜きで1億2,650万円、消費税を含めまして1億3,662万円でございます。落札金額は、税抜きで1億2,473万円、消費税を含めまして1億3,470万8,400円で98.6%の落札率となっております。

入札の参加の状況でございますが、入札参加の希望の提出が5者、それから入札の参加業者も5者でございます。

入札者名といたしましては、ユーケン工業株式会社様、那須建設株式会社様、有限会社遠藤電工様、大竹電気工事株式会社様、有限会社手塚電気様の以上5者でございます。

続きまして、機械設備工事でございますが、予定価格が1億2,480万円、消費税を含んだ予定価格が1億3,478万4,000円でございます。落札金額が、消費税を抜きまして1億2,100万円、消費税を含みまして1億3,068万円で、落札率は96.9%となっております。

入札参加希望の提出いただいた業者につきましては6者ございまして、1者辞退をしてお

りまして、5者が入札に参加しております。

株式会社高橋設備様、飯鉢工業株式会社様、ユーケン工業株式会社様、フタバ設備置賜土木株式会社様、安達設備工業株式会社様、以上5者でございます。

○渋谷佐輔議長 ほかにございませんか。

ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、討論を行います。ご意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○渋谷佐輔議長 ほかにご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第38号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

（起立多数）

○渋谷佐輔議長 起立多数であります。

よって、議案第38号は、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第29、議案第39号 平成29年度長井市一般会計補正予算第1号の1件について質疑を行います。ご質疑ございませんか。

10番、赤間泰広議員。

○10番 赤間瀧広議員 二、三お聞きしたいと思います。済みません。

このたびのこの39号の提案、学校給食費の補正予算であります。大変重みのある提案だと私は思っております。関係者の方には本当に感謝するわけでございますが、まず初めに、教育参事兼教育総務課長にお尋ねしたいと思います。

以前に資料で私が頂戴したものに、平成28年5月1日現在の児童生徒数の数なんです。2,000と30名というふうなことではございますが、このたびの予算ですと2,300ということではございますが、これはどういうふうにして違ったのかお尋ねいたします。

○渋谷佐輔議長 横山賢一教育参事。

○横山賢一教育参事 お答えいたします。

このたびの2,300人の積算につきましては、平成29年度の予算積算時に使用した人数でございまして、当然、児童生徒数に教職員数等々を加えた数値になってございます。

○渋谷佐輔議長 ほかにございませんか。

10番、赤間泰広議員。

○10番 赤間瀧広議員 わかりました。

教職員の数、私も見ておりませんでしたので、確かにそのとおりだと思います。

それでは次に、教育長にお尋ねしたいんですが、私、大田原市の教育委員会にもお尋ねしたことあるんですけども、どうしても、給食費の無償化ということにしていくと、何つうか、当たり前とか、当然だということが、話がだんだんと出てくるということなんです。ぜひ、この給食費というのは市民の税金で払っているんだということと、あと、それから、食べるまでの間につくってくださる方、生産者、調理をしていただく方、そういった人たちへの感謝をしていく必要があると思うんです。そういったことを教育の現場でぜひ、何つうんですか、指導していただきたいというふうに思いますが、教育長のご所見をお聞かせ願います。

○渋谷佐輔議長 平田 裕教育長。

○平田 裕教育長 今、議員おっしゃるとおりだと私も思います。給食はただ単に、エネルギーを補給するということだけではなくて、子供たちにとって大事な食の指導、栄養はもちろんですけれども、マナーであったり、準備、後片づけに対する子供たちの協力、そういうものを相まって全て含めて食育というふうに考えてございますので、そういう食に対する指導というのもこれから十分に子供たちにしていかなきゃいけないというふうに思います。

それから、給食費につきましては、やはりこれは基本的には食材に対してご負担いただいているという考え方でございまして、長井市では、

委託炊飯分であるとか、かなりの部分を市のほうで負担させていただいてる部分もございまして、その辺について、各家庭、学校を通じて、各家庭に周知をしながら、今後とも給食の充実を図ってまいりたいというふうに考えてございます。

○渋谷佐輔議長 10番、赤間泰広議員。

○10番 赤間瀧広議員 最後にですが、市長にお尋ねしたいと思います。

このたびの提案は大変重要な重みのある提案だと私は思っております。今後も、そういう給食費に対する考え方、前向きな考え方でぜひ決意というんですか、そういったものをお聞かせ願えればなというふうに思います。よろしくお願います。

○渋谷佐輔議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

赤間議員から一般質問でもいろいろご提言ございましたし、今泉議員からもご意見を頂戴したところでございます。

その後、教育委員会のほうとお話ししましたところ、実は、教育長からのご提言といいますか、報告で、学校調理場の運営委員会の中で、各小・中学校のPTAの皆さんから、何とか29年度の学校給食については、物価の値上がり等々で食材が少し材料的に厳しいと、給食費を値上げをしたいと、それは我々PTAのほうとしても、保護者の理解を得られるということから、そういったお話があったんだということでございました。

29年度から、食材の部分を1食当たり10円ぐらいというお話でしたけれども、それをお願いするとしても、非常にすぐにはできませんので、今のタイミングですと、秋以降ということになってしまう可能性があるということから、いろいろ教育委員会のほうとも相談いたしまして、その部分を、いささかではございますが、やっぱり食育ということで市のほうで負担をすべき

じゃないかということで一致いたしました、今回補正をさせていただいたということでございます。

重要なのは、赤間議員、ただいまございましたように、学校給食は市が負担するのは当たり前だと、まずくなったらちゃんといいものを出せというようなことで、何といいましょうか、本来はご家庭で用意するものを、それを学校給食として私どもでは調理をして食材費だけをご負担いただくということでしたけれども、もう既に、今回も含めますと1,500万円、それにレインボープランの食材等々、あるいはまるごと長井の給食等々のものを含めますと1,700万円ぐらいになるんでしょうか、それを別途食材の部分から差し引いて私どもで負担してますんで、こういったところも保護者の方にご理解をいただいて、ただ29年度はそこまでにさせていただいて、30年度以降、議員からもございましたように、第3子以降の給食費の無料化とか、あるいは第2子半額化とかですね、そういったことについて議会の皆様とも協議をしながら今後の学校給食費のあり方をなお検討してまいりたいと、そのように思っておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** ほかに。

12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 国語力推進事業について、地方創生参事に伺います。

具体的な内容についてご説明願います。

○**渋谷佐輔議長** 泡渕栄人地方創生参事。

○**泡渕栄人地方創生参事** お答えいたします。

事業の内容としては、現在、長井創生に向けて、長井に住みながら、世界とビジネスができる人材を育成するために、主体性を持った子供を育てるためのキャリア教育も見据えながら、低学年からのグローバル人材を育成するための実学としての英語教育を推進しているところでございます。

そこで、年少期から脳を鍛えるとともに、低学年からの英語習得の基盤となる国語を早期に習得する必要があるために、家庭等の実生活の場面において、活字を読むことを習慣化して、無理なく国語力を身につけさせる必要があると考えております。そのため、乳幼児期から、保護者やおじいさん、おばあさん、家庭全体で読み聞かせですとか音読というものが習慣化するように、家庭での読み聞かせ、音読手法、指導資料というものを作成いたしましたして、乳幼児期からの国語力の向上を図ってまいりたいと考えております。

それとあわせて、特に音読の際には、論語等、先人の知識が凝縮された古典の活用も奨励することによって、貧困家庭も含めた保護者の倫理観ですとか社会性の向上も図ってまいりたいと考えております。

さらには、高齢者の方々にも、孫への読み聞かせですとか音読を習慣化することを目指して、脳トレによる認知症予防も図りたいと考えております。

○**渋谷佐輔議長** 12番、五十嵐智洋議員。

○**12番 五十嵐智洋議員** 活字を読む習慣をつける、大変結構なこと、大事なことだと思います。今、大学生にアンケートをすると、半分以上が、1日の読書時間がゼロ分というふうな答えが返ってくるんですね。もうびっくり仰天ですね。

今、乳幼児期からの読み聞かせ、大変結構だと思うんですけども、やっぱり家庭環境なんかもあって、なかなかこの家庭も全てで対応するというのは難しいと思うんですが、学校教育の現場で、学校教育、小・中学校ですね。最近、読み聞かせという時間が少なくなってきたというように思いますけども、学校での取り組みについては、参事はどういうふうにお考えですか。

○**渋谷佐輔議長** 泡渕栄人地方創生参事。

○泡渕栄人地方創生参事 お答えいたします。

さまざまな工夫を凝らして、各学校では読み聞かせが行われているかどうかわかりませんが、読むということを行っているところがあるかと思えます。

私が、今回長井市に来てからはまだ、そこは視察等でまだ確認はとれてないんですけども、総合的な学習の時間ですとか、あとは朝の時間を利用していろいろな活動が考えられると思いますので、今後は各学校でそういったことも検討していければなと思っております。

○渋谷佐輔議長 ほかにございませんか。

11番、小関秀一議員。

○11番 小関秀一議員 今の国語力増進事業についてです。

まず1つは、今、五十嵐議員からもあった質問の中身で、具体的にはどういうふうなことで進めていくのかというふうな説明があったわけですが、まず、ブックリストデザイン作成業務等委託料以下の3つの委託料というのは、これどういうふうな業者にどういう委託をし、調査業務をし、そして、今後の事業に活用するような展開になるのか。まず、これは地方創生参事に伺います。

○渋谷佐輔議長 泡渕栄人地方創生参事。

○泡渕栄人地方創生参事 お答えいたします。

まずは、3種類の委託のところでございますけれども、まずは、ブックリストデザイン等の費用でございます。内訳としては、ブックリストのデザインそのものでございます。それと、普及啓発チラシのデザイン、あとは効果測定、今からご説明しますが、効果測定を行います。その後の読書ですとか、そういったものの普及啓発の冊子をつくらうと思っております。そのデザイン料でございます。それが326万3,220円となっております。

それと、もう一つ、脳科学測定器効果検証調査というものを考えておりまして、これは脳科

学のご専門の方をお願いしようと思っております。これが100万円でございます。

最後に、読み聞かせ、音読指導資料配布前後の保護者の状況調査というものを考えております。これは調査会社に委託して配布の前後ですね、そこでアンケート調査を図りたいと考えております。

○渋谷佐輔議長 11番、小関秀一議員。

○11番 小関秀一議員 ありがとうございます。

説明をいただいてもよ、よくわかんねえ部分があるんですが、調査をし、ブックデザインを作成し、そして指導の資料等をつくって、その効果を検証していくということでもあります。これ、平成29年度の文部科学省の事業だというふうに思われますが、これ1年で国の予算処置は終了するのか。また、長井市がこれから社会教育の中で、学校教育の中も含めてですが、今後ともこういう継続した子育てなり、地域、何だ、創生のための事業として継続できるものなのか、そこ非常に気になるんだ。単発で補助事業が出たからというふうなことで終わらせたくないなというふうな思いがあるわけですが、これについては、教育長か。地方創生参事に、じゃあ、お願いします。

○渋谷佐輔議長 泡渕栄人地方創生参事。

○泡渕栄人地方創生参事 お答えいたします。

これ、来年度からの新規の事業となっております。まだ方針は出ておりませんが、文部科学省の感触としては、ぜひとも単年度で終わらせないで、翌年度も続けていきたいと考えているということでございました。それがもしなかった場合、なかった場合には、最低限のこととして冊子をつくるというのが考えられるんですけども、それに関しては、生まれてくるお子さんが大体市内で200人程度でございますので、200部の冊子をつくるということであれば、多少の経費はかかりますけれども、そん

なにはかからないのかなと、とりあえず版をつくっておくというのが重要であると思っております。

○**渋谷佐輔議長** ほかにございませんか。

ほかに質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議案第39号は、原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○**渋谷佐輔議長** 起立全員であります。よって、議案第39号は、原案のとおり決定いたしました。

日程第30 議案第40号 長井市副市長の選任について

○**渋谷佐輔議長** 次に、日程第30、議案第40号 長井市副市長の選任についての1件を議題いたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○**内谷重治市長** 議案第40号 長井市副市長の選任についてご説明申し上げます。

本案は、平成29年3月31日をもって任期満了となります本市副市長に引き続き遠藤健司氏を選任したく、ご提案申し上げますのでございます。よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○**渋谷佐輔議長** 提案者の説明が終わりました。

ここで、審議の都合上、遠藤健司副市長の退席を求めます。

(遠藤健司副市長退席)

○**渋谷佐輔議長** 本案は、人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、採決いたします。

議案第40号について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○**渋谷佐輔議長** 起立多数であります。

よって、議案第40号は、原案に同意することに決定いたしました。

ここで、遠藤健司副市長の復席を求めます。

(遠藤健司副市長復席)

○**渋谷佐輔議長** 遠藤健司副市長に申し上げます。

あなたの長井市副市長の選任に同意することに決定いたしましたので、告知いたします。

日程第31 議案第41号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任について

○**渋谷佐輔議長** 次に、日程第31、議案第41号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○**内谷重治市長** 議案第41号 長井市固定資産評価審査委員会委員の選任についてご説明申し上げます。

本案は、平成29年3月26日をもって任期満了となります固定資産評価審査委員会委員に引き続き梅津悠子さんを選任したくご提案申し上げますのでございます。よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○**渋谷佐輔議長** 提案者の説明が終わりました。

本案は、人事案件でありますので、質疑、討論は省略し、採決いたします。

議案第41号の1件について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○**渋谷佐輔議長** 起立全員であります。

よって、議案第41号は、原案に同意することに決定いたしました。

日程第32 諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

日程第33 諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

○**渋谷佐輔議長** 次に、日程第32、諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて及び日程第33、諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについての2件を一括議題といたします。

提案者の説明を求めます。

内谷重治市長。

(内谷重治市長登壇)

○**内谷重治市長** 諮問第1号及び諮問第2号は、いずれも人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてでございますので、一括してご説明申し上げます。

諮問第1号では、平成29年6月30日をもって任期満了となります人権擁護委員の候補者として、改めて安達英一さんを推薦するため、諮問第2号では、同じく6月30日をもって任期満了となります人権擁護委員の候補者として、改めて小関正一さんを推薦するためご提案申し上げます。よろしくご同意賜りますようお願い申し上げます。

○**渋谷佐輔議長** 提案者の説明が終わりました。

本案は、人事案件でありますので、質疑、討

論は省略し、順次採決いたします。

まず、日程第32、諮問第1号の1件について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○**渋谷佐輔議長** 起立全員であります。

よって、諮問第1号は、原案に同意することに決定いたしました。

次に、日程第33、諮問第2号の1件について、原案に同意することに賛成の議員の起立を求めます。

(起立全員)

○**渋谷佐輔議長** 起立全員であります。

よって、諮問第2号は、原案に同意することに決定いたしました。

日程第34 議会案第1号 長井市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○**渋谷佐輔議長** 次に、日程第34、議会案第1号 長井市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定についての1件を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

議席番号15番、町田義昭議員。

(15番町田義昭議員登壇)

○**15番 町田義昭議員** 議会案第1号 長井市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定についてご説明申し上げます。

本案は、市民に開かれた議会の推進並びに政務活動費の使途の透明性の確保を図るため、収支報告書等の閲覧について、請求者の範囲を拡大するなど、所要の改正を行うため提案するものであります。よろしくご賛同賜りますようお願い

願ひ申し上げます。

○**渋谷佐輔議長** 提案者の説明が終わりました。
これから質疑を行います。ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、議会案第1号について、討論を行います。ご意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご意見もないので、討論を終結し、採決いたします。

議会案第1号は、原案のとおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、議会案第1号は、原案のとおり決定いたしました。

日程第35 議員派遣の報告

○**渋谷佐輔議長** 次に、日程第35、議員派遣の報告であります。

別紙議員派遣報告のとおり、平成28年4月から平成29年3月までに地方自治法第100条第13項の規定により議員を派遣いたしましたので、報告いたします。

なお、報告には、議長の派遣、会派並びに議員個人に対するものは含まれておりませんことをご承知おき願います。

日程第36 閉会中における継続審査申出書

○**渋谷佐輔議長** 次に、日程第36、閉会中における継続審査申出書の1件を議題といたします。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査に付することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

最後にお諮りいたします。本定例会において議決されました議案の中で、条項、字句、数字、その他整理を要するものについては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**渋谷佐輔議長** ご異議なしと認めます。

よって、整理を要するものについては、その整理を議長に一任することに決定いたしました。

以上で本日の議事は全部終了いたしました。

ここで、市長から挨拶をいたしたい旨の申し出がありますので、これを受けることといたします。

内容重治市長。

(内容重治市長登壇)

○**内容重治市長** 平成29年第1回長井市議会3月定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

このたびの3月定例会につきましては、平成29年度の施政方針並びに予算案、そして人事案件などをご議論いただきます非常に重要な議会でした。議員の皆様からは、全議案、ご承認、ご可決を賜りましたこと、改めて厚くお礼申し上げたいというふうに思います。本当にありがとうございます。

また、このたびは、14名の一般質問、そして、7名の予算総括質疑をしていただきまして、非常に大切なお提言、ご意見を賜りました。議論の過程の中で頂戴いたしましたさまざまな皆様

のご提言、ご意見に十分に意を用いて29年度の市政運営を行ってまいりたいというふうに思いますので、何とぞよろしくご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度は、第五次総合計画、「みんなで創るしあわせに暮らせるまち 長井」の4年目に当たり、なおかつ平成27年の9月に策定いたしました長井市の人口ビジョン並びに総合戦略、こちらの3年目、地方創生5年目のちょうど真ん中に当たる重要な年というふうに認識しております。

昨年の11月には、公共施設整備計画を報告をさせていただきました。いよいよ28年度も含めますと、今後10年間、140億円を超える公共事業の着手に取りかかったところでございますけれども、振り返りますと、平成9年から平成24年までの15年に及ぶ財政再建、行財政改革で、我々、大変な、市民にも、あるいはさまざまな面でご負担をおかけしながら、議会の皆様とともにこれを乗り越えてまいりました。ようやく再建が一時的に完了したわけではございますけれども、引き続き今後、極めて厳しい人口減少、そして高齢化率の進展に伴う扶助率等、社会保障の費用が増大すると、こういった中での公共施設整備については、議員の皆様からもさまざまな懸念を含めたご助言を賜りました。

ただ、私ども執行者側として、ぜひご理解賜りたいのは、私たちが今置かれている立場は、やはり財政再建があったとはいえ、さまざまな課題が先送りされて、今の公共施設整備という、もう待ったなしの状況に來ていると。したがって、いろんな市民の皆様からのご意見や議会の皆様からのお知恵もお借りしながら、何とか必要な公共施設整備はなし遂げなきゃならないと、そのように思っております。

ただし、重要なのは、人口が減っていく中での公共施設整備でございますので、建設費はもとより、重要なのはこの維持管理のための固定

費をいかに変動費にかえていくという知恵が求められているということを私は肝に銘じております。

したがって、ただいま私どもでも、ここ3年ぐらいかけて研究しておりますPFIとPPP、これをぜひ生かさなければならないと。幸いにも、次年度には、県の人事交流でそういった意欲のある県職員、PFIとPPPに意欲のある職員を派遣していただくということでございますし、地方創生を進めておりますが、その大きなものは何かといたら、単なる財政支援だけでなく、人的な、あるいは情報といった支援でございます。幸い、人的な部分では、文部科学省のほうから泡瀬氏にシティマネージャーとして就任いただいて、来年度は2年目に入ります。また、情報という面では、内閣府に、あるいは東北経済産業局、東北地方整備局に引き続き職員を派遣しながら、私ども行革の間、非常に閉ざされた中での状況を、こういった人事交流なども含めまして、何とか回復したい。そして、私ども市の幹部もみずから省庁に出向いて、あるいは県と一体となって、こういった事業を懸命に取り組んでまいりたいというふうに思います。

結びになりますけれども、いよいよ4月21日、観光交流センター道の駅「川のみなと長井」がオープンいたします。これは議会の皆様からいろいろなご助言をいただきまして、結果として2年間おくらせてしまった施設ではございます。今となれば、市民の皆様から、規模が小さくてだめだとか、あるいは川との関連が全くないということで、当初あった計画を変更して、今の規模縮小やら、あるいは河川関連の工事は残念ながら今回入っておりません。しかし、その分いろいろな工夫がされて、施設そのものは、これから必ずや市民初め観光交流に資するものというふうに確信しておりますし、ちょうど県の道の駅の支援措置も受けられるといういいタイミ

ングだったと思ってます。

加えて、このたび、ご承認賜りました長井小学校の第一校舎の工事につきましても、昨日、東洋大学等々で主催の地方創生セミナーがございまして、その中で私も参加してまいりましたが、内閣府のまち・ひと・しごと創造本部の地方創生総括官、唐沢総括官からは、大変ありがたいご助言をいただいております。長井小学校は、全国にもまれな木造の大規模な古い校舎であると。この卒業生はもちろん、長井の市民の皆さんは、多くの方々がこの学校を見ていらっしゃると、卒業していらっしゃると、必ず思い出としていろんな記憶があるはずだと。それはとりもなおさず長井への誇りであったり、愛郷心につながってると。2つ目には、学びの場のみならず、交流の場としてこれから多くの長井市民、また、市外からの方々もこれを活用していただける、その交流の場としての価値が高いと。さらにもう一つは、何ととっても文化、そして、歴史を学ぶ場ということでの活用が望まれるというエールを送っていただいたところでございます。

ぜひ、29年度、さまざまな困難があるかと思いますが、ぜひ議会の皆様からも、なお一層のご指導賜りますとともに、長井市が、29年度、あそこが長井の転換点だったと言っていたようなさまざまな事業を皆様とともに頑張ってまいりたいと思いますので、今後なお変わらぬご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、12時を過ぎてしまいましたけれども、私の御礼のご挨拶とさせていただきます。まことにありがとうございました。

閉 会

○渋谷佐輔議長 これをもって平成29年第1回長

井市議会定例会を閉会いたします。ご協力まことにありがとうございました。

午後 0時05分 閉会

会議録署名議員

議 長 渋谷 佐 輔

4 番 内 谷 邦 彦

5 番 平 進 介

6 番 鈴木 富美子